

実務家教員育成研修プログラム受講者募集要項（概要）

募集プログラム名

実務家教員育成研修プログラム

対象（但し、技術士または技術士相当の資格を有し、高度な実務能力と相当の実務経験を有する者であること）

- ・インフラメンテナンス分野のリカレント教育を担う実務家教員を目指す者
- ・建設技術者として培った実務経験や技術を体系化し、次世代に継承したいと考える者

開催概要

- ・開催期間：7月～2月（約8ヵ月間）
- ・開催回数：月1～2日（全7回、計9日間）
- ・開催曜日：土曜日（2日連続の場合は連続する土曜日・日曜日に開催します）
- ・開催時間：9:00～17:00（開始時間と終了時間は前後することがあります）

受講会場

大阪市内、又は、舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター（iMec）

定員

10名

応募・選考方法

- ・受講者は公募します。公募期間は4月上旬～5月中旬です。
- ・KOSEN-REIMホームページから応募書類をダウンロードし、必要事項を記入の上、KOSEN-REIM事務局メール宛に送付してください。
- ・応募書類提出期限は5月中旬です。
- ・応募書類に基づく書類選考を実施します。選考結果は5月下旬に応募者個人宛にメールで通知します。

カリキュラム・スケジュール

実務家教員育成研修プログラムを構成する7つの講座	e-learning		講習会		
	学修時間	学修時間	日数	開催時期	開催方法、場所
1 実務家教員の教養講座	7	2	1	7月上旬	オンライン
2 実務経験と専門性の棚卸講座	1	2			
3 実践講義力養成講座	1	6	1	7月下旬	対面、大阪市内
4 リカレント教育体験講座	9	14	2	8月	対面、舞鶴高専
5 教育能力養成講座	4	11	2	9月、10月	対面、大阪市内
6 実証講座教育実習	8	20	2	1月	対面、舞鶴高専
7 プログラム修了評価	0	5	1	2月	対面、大阪市内

受講料

2021年は実証講座のため無料

その他

- ・本プログラムの全課程修了者には、修了証書を授与し、『専任教士（建設部門）』（仮称）として認定します。
- ・本プログラムは、文部科学省の職業実践力育成プログラム（BP）への認定申請を予定しています。
- ・受講者募集に関する最新情報はKOSEN-REIMホームページに掲載します。応募の際は必ずご確認ください。



『教える』ための技術を学ぶ

KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築 (KOSEN-REIM)

KOSEN-REIM事務局
(舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター内)

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋234番地
電話▶0773-62-5600(代表)、0773-62-8877(直通)
ファクシミリ▶0773-62-5558(代表)
専用メールアドレス▶kosen-reim@maizuru-ct.ac.jp
ホームページ▶https://www.maizuru-ct.ac.jp/kosen-reim/index.html



iMecキャラクター
Dr.MAMORUN



KOSEN型産学共同 インフラメンテナンス人材育成システムの構築

実務家教員育成研修プログラム

— 建設業界の人材育成と技術継承を担う実務家教員の育成 —

文部科学省Society5.0に対応した高度技術人材育成事業

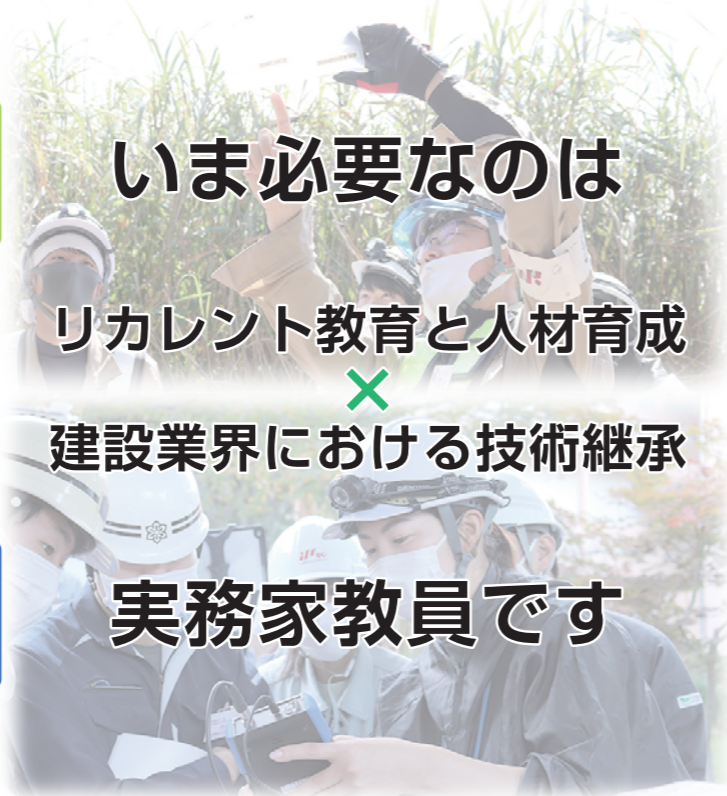
持続的な産学共同人材育成システム構築事業

— リカレント教育等の実践的教育の推進のための実務家教員育成・活用システムの全国展開 —

インフラメンテナンス分野の実務家教員を育成する

“Society5.0” — 社会が複雑化・高度化し、情報・知識を利活用しながら生活することが当たり前前の社会 — の到来を前に、社会資本としてのインフラは本格的なメンテナンス時代を迎えています。建設業界には、この社会変革とメンテナンスニーズ増大に対応できる人材を育成し、良質な社会資本としてのインフラを未来に継承することが求められています。

「KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築」(KOSEN-REIM)では、“地元のインフラは地元で守る”をモットーに、地方の建設技術者の技術レベル向上を目指し、**高専におけるインフラメンテナンス分野のリカレント教育を担う『実務家教員』を育成**します。『実務家教員育成研修プログラム』は、熟練の建設技術者が『教える』ために必要な能力の修得をめざす実践的カリキュラムで、**個々の技術者が培った実務経験や技術力を、次世代に継承可能なコンテンツとして形づくり、伝えていく方法を学ぶ**ことができます。このプログラムが、所属企業・団体等における技術継承の一助となり、また、受講者自身がリカレント教育の場で広く活躍されるきっかけとなることを願っています。



実務家教員とは (KOSEN-REIMの定義)

技術士または技術士に相当する資格を有し、インフラメンテナンスに関する高度な実務能力と相当の実務経験を有する人材であり、かつ、自らの実務経験を体系的に整理でき、リカレント教育プログラムの講師として必要な教育能力と、教育・研究者としての教養と資質を兼ね備えた人材。

実務家教員のキャリアパス

実務家教員育成研修プログラムの全課程修了者は『専門教士(建設部門)』(仮称)に認定され、高専が実施するリカレント教育プログラムの講師として、現職との平行キャリアの形成が可能です。



実務家教員育成研修プログラム概要

講座名、講座概要	講習会No.、学修内容	学修時間
1 実務家教員の教養講座 実務家教員としての教養を高め、教育・研究者としての資質を養う	講習会① ・KOSEN-REIMについて ・Society5.0と実務家教員 ・実践と理論の融合 ・高等教育論と成人教育論 ・コンプライアンスと倫理	e-learning 7 講習会 2
2 実務経験と専門性の棚卸講座 実務経験を言語化して体系的に整理し、実務家教員としての専門性を認識する	講習会① ・実務経験と専門性の言語化 ・教員個人調書の書き方 ・教員研究業績書の書き方	e-learning 1 講習会 2
3 実践講義力養成講座 講義力とファシリテーション力を身につけ、講師としての魅力を高める	講習会② ・実践講義法 ・ファシリテーション法 ・話し方と伝える力 ・実務経験プレゼンと評価	e-learning 1 講習会 6
4 リカレント教育体験講座 リカレント教育を実体験し、目指すべき実務家教員像を具体化する	講習会③ ・e+iMec講習会 【基礎編(橋梁点検)】	e-learning 9 講習会 14
5 教育能力養成講座 教えるための技能(学修設計・指導・評価能力)を修得する	講習会④ ・授業デザイン ・教授法とアクティブ・ラーニング	e-learning 4 講習会 11
6 実証講座教育実習 実証講座の設計・指導・評価を行い、実務家教員としての実践を経験する	講習会⑥ ・実証講座の設計 ・実証講座の指導 ・実証講座の評価	e-learning 8 講習会 20
7 プログラム修了評価 プログラム全体を振り返り、実務家教員としての役割とキャリアパスを考える	講習会⑦ ・実務家教員のキャリアパス ・フリーディスカッション ・評価(プログラム、講師、受講者)	e-learning 0 講習会 5
学修時間合計：90時間(e-learning：30時間、講習会60時間)		

実務家教員育成研修プログラム年間スケジュール (イメージ)

約8か月間のプログラムで、講習会は月1回、土曜日の開催を基本とします。各講習会の約3週間前から、事前学修としてeラーニングを受講いただきます。

講座名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実務家教員の教育講座	e-learning												
実務経験と専門性の棚卸講座	e-learning												
実践講義力養成講座	e-learning												
リカレント教育体験講座													
教育能力養成講座	e-learning												
実証講座教育実習													
プログラム修了評価													
講習会日数	9日				1	1	2	1	1		2	1	

受講者公募開始 → 受講者決定・通知 / 受講案内 → 実務家教員育成研修プログラム 開講式 (7月) → 講習会① (7月) → 講習会② (8月) → 講習会③ (9月) → 講習会④ (9月) → 講習会⑤ (10月) → 講習会⑥ (12月) → 講習会⑦ (2月) → 実務家教員育成研修プログラム 修了式 (2月) → 認定審査 / 履修証明 → 専門教士(建設部門)認定証発行 / 学修履歴証明発行 (3月)